

日出町有形文化財

日出藩御茶屋

襟江亭主屋 解体保存工事見学会

江戸時代前期の
木造建築を
守り伝える

その最前線
を見る、知る、学ぶ

文化財建造物を
守り伝える



日 時

令和7年 12月13日(土)

10:30 ~ 12:00

少雨決行
荒天中止

会 場

襟江亭 ★申込不要、見学無料

大分県速見郡日出町大字大神字深江 5422 番地

P 大神漁港駐車場をご利用ください（駐車場より会場まで徒歩約2分）

内 容

Ⅰ 襟江亭の歴史、調査、評価について（概要）

Ⅱ 襟江亭主屋の工事（解体保存）について（概要）

Ⅲ 工事現場の公開見学

★建築・文化財のスタッフが見どころを解説します

☞ 襟江亭（文化財建造物）の建築構造・部材の特徴、発見、謎

☞ 襟江亭（文化財建造物）の解体ならではの方法や技術

日出藩御茶屋襟江亭

襟江亭は寛文7年(1667)年、日出藩3代藩主木下俊長の命により深江（港）に造営された日出藩の御茶屋です。日出藩をはじめ、別府湾を出帆する九州諸藩の大名が深江港、襟江亭を利用しました。現存する極めて希少な大名参勤交代の御茶屋、九州最古期の武家建築として、後世への保存継承が求められる貴重な文化財です（主屋建物は町指定有形文化財）。



主 催

日出町教育委員会

問合先

日出町教育委員会社会教育課（文化財係）

TEL0977-73-3222/FAX0977-72-8680

〒879-1506 大分県速見郡日出町 3891 番地 2